

汗牛充棟

かんぎゅうじゅうとう

「かんぎゅうじゅうとう」とは、牛が汗をかくほどの重さと、棚につかえるほどの量、転じて、多くの書物の意

世界の図書館：ストックホルム市立図書館 / スウェーデン

教務部図書係より

今月号は2学期の開始、そして「読書の秋」にふさわしく、学校長 遠藤先生の巻頭エッセイからスタートです。是非、文脈から立ち上る文学の香りを味わってください。この秋あなたにも、その土地に誘ってくれるような作品、そして作家との出会いが訪れますように！

目次

02	[巻頭特別エッセイ]	北の大地にて～文学を巡る旅 - 学校長特別寄稿 -
05	[図書委員活動報告]	蕨市立図書館とのコラボレーション企画
07	[生徒寄稿]	図書員会編集班からのおすすめ本 高校1学年図書委員編集班
10	[教員寄稿]	教員のおすすめ本 東甫 祐希 先生
12	[特集]	今読んでおきたい名作（日本の名作）
15		新着図書あんない・新着図書ピックアップ
23		高校図書館開館カレンダー
24		タブレット／スマホでの蔵書検索 本のリクエスト手順

北の大地にて ～文学を巡る旅～

- 学校長特別寄稿 -



遠藤 修平

学校法人 武南学園
武南高等学校 武南中学校 校長

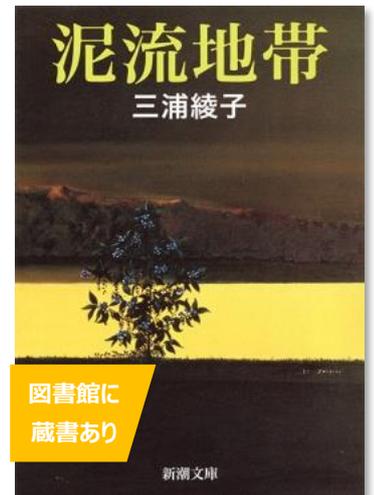
1960年福島県生まれ。埼玉県内
公立校で学校長を歴任後、2020
年に本校へ赴任。2022年4月より
現職。

この夏、サッカー部がインターハイに出場することになり、その応援で北海道の旭川市に行くことになりました。旭川は私が行って見たかった土地の一つであり、サッカー部の皆さんに感謝しています。

旭川は私の好きな作家の一人である三浦綾子が生まれ育ち、生涯を過ごした土地です。三浦綾子は『氷点』や『塩狩峠』など優れた作品を多く残しています。中でも私は『泥流地帯』が一番心に残っています。

『泥流地帯』は大正15年5月の十勝岳の大噴火で、積雪を溶かし泥流となって豊かな農地を飲み込んだ際の上富良野の地の農村を舞台に、自然災害に負けず、貧しさや親のいないことにも耐えて明るく誠実に生きている拓一、耕作兄弟の姿が描かれています。

また、『続泥流地帯』には、兄の拓一が周囲の反対を押し切って、荒れ地を実りある土地に開拓した祖父の思いを胸に、噴火によって硫黄を含み流木の流れ込んだ荒れた泥流地帯を見捨てることなく、緑豊かな水田に戻して実りある豊穡の土地にするのを目標に奮闘する姿が描かれています。そこには、近年の雲仙普賢岳で起きた火砕流からの復興や東日本大震災の復興と思いが重なります。



今回、三浦綾子が育った街並みを歩き、三浦綾子文学館にも足を運びました。『氷点』の舞台になった見本林や珈琲店もありました。上富良野の地から十勝岳を見ることはかないませんでした。三浦綾子という一人の作家が生まれ育った旭川の地の「空気感」を感じ取ることができました。

三浦綾子記念文学館（旭川市）



このように、文学者にゆかりの土地は多く、井上靖の伊豆、太宰治の津軽、石川啄木の盛岡、宮沢賢治の花巻、夏目漱石の東京、松山等、多くの作品がその土地と結びついて生まれています。旅に出かけた折には、その土地の作家の本を読み、そして、その作家を育んだ風土や文化、そして作品の「空気感」に触れるのも読書の楽しみ方の一つです。皆さんも、旅行に出かけた際には、その土地の文学に触れる体験してみてはいかがでしょうか。

北海道上富良野にほど近い風景



図書係編集班より

本学園の図書館には三浦綾子の本を多数蔵書しております。図書館に足を運んだ際には、ぜひ一度手に取ってみてください。

<高校図書館に蔵書している三浦綾子の蔵書一覧>

タイトル	出版社	図書分類番号
泥流地帯	新潮社	913.6
続泥流地帯	新潮社	913.6
塩狩峠	新潮社	913.6
積木の箱 上下巻	新潮社	913.6
氷点 上下巻	新潮社	913.6
道ありき 青春編	新潮社	913.6
この土の器をも	新潮社	913.6
光あるうちに	新潮社	913.6
母	角川書店	913.6
新約聖書入門	光文社	913.6
われ弱ければ	小学館	913.6
独麦の季	小学館	913.6
銃口 上下巻	小学館	913.6
ごめんなさいといえる	小学館	913.6
愛の鬼才	小学館	913.6
嵐吹く時も 上下巻	新潮社	913.6
広き迷路	新潮社	913.6
明日をうたう	角川書店	913.6
天北原野	新潮社	913.6
海嶺 上中下巻	角川書店	913.6
病めるときも	角川書店	913.6
千利休とその妻たち	主婦の友社	913.6

蕨市立図書館とのコラボレーション企画

かねてからご案内のとおり、10月1日からいよいよ蕨市立図書館に「武南高校図書委員・図書部推薦」の展示コーナーが設置されます。実際に足を運んでご覧ください。

今回は、「おいしいものが繋ぐ物語」と「愛の物語」というふたつのテーマで10冊の本が展示されます。どうぞお楽しみに！



図書部の1年生が
作成した展示用ポスター

(テーマ1) おいしいものが繋ぐ物語

およそ人間の営みの中で「食」ほど生きることに直結した行為はないでしょう。「おいしいもの」や「おいしい場面」が印象に残る小説が多いのは、そのせいかもしれません。人と人を、人と時間を、人と出来事を、そしてあなたと小説世界をおいしいものが繋いでくれる、そんな作品を集めました。

<コラボ展示作品>

- ・『エミリの小さな包丁』 森沢 明夫
- ・『真夜中のパン屋さん』 大沼 紀子
- ・『サーカスの夜に』 小川 糸
- ・『マカンマラン』 古内 一絵
- ・『そしてバトンは渡された』 妹尾 まい子



(テーマ 2) 愛の物語

私たちひとりひとりの心の中にある「愛」は色も形も見えないけれど、どこまでも無限に広がって、どこまでも深い。そんな「愛」をことばにしてくれる本があります。その一冊を手にとって、作品が紡ぐ愛の物語を味わってみませんか。

<コラボ展示作品>

- ・『とわの庭』 小川 糸
- ・『容疑者Xの献身』 東野 圭吾
- ・『桜のような僕の恋人』 宇山 佳佑
- ・『星の王子さま』 サンテグジュペリ
- ・『博士の愛した数式』 小川 洋子



告知

このコラボ展示に関して、「蕨ケーブルビジョン」、「蕨市広報」より取材依頼を受けております。

取材の詳細は今後の汗牛充棟に掲載します。

図書委員 編集班からおすすめの本

今月は「高校1年生 図書委員生徒」からの寄稿です。

真夏のピークが去り、暑くない日も増えていく9月となりました。9月といえば、数ある学校行事のなかでも人気の文化祭や体育祭といった行事がありました。これらの行事が終わっても、クラスや部活などで協力して、何年経っても思い出してしまうような学校生活を送りましょう！

今月は読書の秋、ということで**アニメ化・映画化された作品**を紹介します。興味のある本があれば、ぜひ読んでみてください！

『わたしの幸せな結婚』 顎木 あくみ / KADOKAWA 富士見 L 文庫

異能という特殊な能力を受け継ぐ家に生まれた美世は継母、義妹に虐げられて育ってきた。

何故なら、美世には異能も、鬼が見える見鬼の才もなかったから。実母は美世がまだ幼いうちになくなり、残された美世は使用人のように過ごしていた。そんな中、名家、久堂家からの縁談を受ける。しかし当主久堂清霞は数多の女性が3日で逃げ出してしまうような冷酷無慈悲な人で....

虐げられてきた主人公が愛され、幸せになる物語です。



<同作品の映画>



公開日	2023年3月17日
キャスト	監督：塚原あゆ子 原作：顎木あくみ 出演：目黒蓮 今田美桜 渡邊圭祐 前田旺志郎 高石あかり 小越勇輝 佐藤新 西垣匠 松島庄汰 高橋大翔 珠城りょう 小林涼子 浜田学 山本未来 山口紗弥加 平山祐介 高橋努 津田健次郎 尾上右近 火野正平 石橋蓮司
配給	東宝
公式サイト	https://watakon-movie.jp/

『本好きの下剋上～司書になるためには手段を選んでいられません』 香月 美夜／TO ブックス

何よりも本が好きな現代日本に暮らす女子大生、本須麗乃。図書館への就職が決まっていたある日、地震により本に埋もれて死亡。その後、次に目を覚ましたのは言葉も文化も人も、何もかも未知の異世界の子供、マイン。何かと問題のある子供で…。さらに、なんとそこでは貴族以外は本はおろか、平民は文字すら読めない!? “本が無いならー” 中世欧州風の、異世界転生ファンタジーです。



<同作品のアニメ>



公開日	2019年
キャスト	監督：本郷みつる 原作：香月美夜 出演：井口裕香 速水奨 中島愛 折笠富美子 小山剛志 田村陸心 子安武人 日野聡 前野智昭 内田彩 中博史
配信	Hulu 等で配信中

『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』 汐見 夏衛／スターツ出版

高校2年生で、誰からも信頼される優等生丹羽茜。ある理由から自分の気持ちを隠し、学校ではマスクをつけて生活している。そんな茜と真反対で自分の気持ちをはっきりと言うクラスメイト、深川青磁。彼もまた、人には言えない秘密があって…ある時、席替えで隣になった2人だったが茜は青磁に「大嫌い」と言われてしまう。タイトル回収と茜の成長に涙する、コロナ禍の今だからこそ読んでほしい恋愛物語。



<同作品の映画>



公開日	2023年9月1日 (上映中)
キャスト	監督：酒井麻衣 原作：汐見夏衛 出演：白岩瑠姫 久間田琳加 箭内夢菜 吉田ウーロン太 今井隆文 上杉柊平 鶴田真由
配給	アスミック・エース
公式サイト	https://yorukimi.asmik-ace.co.jp/

『ミステリという勿れ』

田村 由美 / 小学館

大学生の久能整は、独自の価値観と持論で淡々と会話で謎を解き明かしていた。美術展を見に広島を訪れた整は、ある事件で知り合った青年・犬堂を通して、高校生の狩集汐路に出会う。整は代々死者まで出る狩集家の遺産問題をめぐるアルバイトをもちかけられ…社会学の勉強にもなり、人生において本当に大切なことを教えてくれる一冊です。

普段は見過ぎてしまうことに再び目を向けるきっかけになります。



<同作品の映画>



公開日	2023年9月15日 (上映中)
キャスト	監督：松山博昭 原作：田村由美 出演：菅田将暉 松下洸平 町田啓太 原菜乃華 萩原利久 鈴木保奈美 滝藤賢一 でんでん 野間口徹 松坂慶子 松嶋菜々子 伊藤沙莉 尾上松也 筒井道隆 永山瑛太 角野卓造 段田安則 柴咲コウ
配給	東宝
公式サイト	https://not-mystery-movie.jp/

(高校1年生 図書委員 編集班)

教員おすすめの本

今月は「東甫 祐希先生」からの寄稿です。

あなたには今、何か目標はありますか？もし、その目標が達成できないという現実を目の当たりにしてしまったらどうしますか？

この本はコロナ禍で夏の高校野球大会（甲子園予選）が中止になってしまった高校球児取材した記録について書かれている。取材の対象となっている高校は愛媛の済美（さいび）高校である。この高校は春夏通じて甲子園に8回出場している全国でも名の知れた名門校である。そのような名門校に通っている野球部員なので、目標はもちろん甲子園出場である。そんな彼らから“甲子園”という夢が奪われて、「何をモチベーションにして野球に取り組むのか」を悩みながら活動していく様子が描かれている。

野球部員だけでなく、今の時代を生きる全員が当たり前にある日常や目標を持つことの大切さを考えさせられる一冊である。

汗牛充棟を読んでくださっているみなさんもコロナ禍で学校行事が中止になってしまったり、部活動が思うようにできなかつたりしたかもしれません。私自身も高校生の頃、地震により野球の大会が中止になってしまったことがありました。部活動再開後は、それまで以上に野球というスポーツの面白さや友人と切磋琢磨して活動することの楽しさを感じました。コロナによる規制が収まり、マスクを外して会話ができるようになったり、学校行事ができるようになったりしている今ある日常を当たり前だと感じているかもしれません。しかし、そうではないということがコロナ禍を経験したみなさんだからこそ、より一層感じられると思います。

学校に来て、友達と会話をしたり、勉強をしたり、部活動をしたりする時間を大事にしてください。そうすれば、より有意義な学校生活を送れるのではないのでしょうか。

（教務部図書係 教員 東甫 祐希）

『あの夏の正解』

早見 和真



早見和真の著書で、本学園の図書館に蔵書している本をご紹介します。

(※本の内容は「Book データベース」より抜粋)

『あの夏の正解』 新潮社



内容は東甫先生紹介のとおり。

『6』 毎日新聞社



東京六大学野球。野球が何よりも好きで、一心に打ち込んできた学生たち最後の舞台。甲子園の優勝ピッチャー・星隼人が選んだのは早稲田大学野球部だった。彼が四年生の秋、東大の補欠選手、法政のマネージャー、明治の就活生、ミス立教を目指す女子学生、慶應の野球部員の母親、それぞれの人生が交錯する。野球に関わる人たちの選択や葛藤、不安などを見事に描いたリアルで切ない青春小説！

『イノセント・デイズ』 新潮社



田中幸乃、30歳。元恋人の家に放火して妻と1歳の双子を殺めた罪で、彼女は死刑を宣告された。凶行の背景に何があったのか。産科医、義姉、中学時代の親友、元恋人の友人、刑務官ら彼女の人生に関わった人々の追想から浮かび上がる世論の虚妄、そしてあまりにも哀しい真実。幼なじみの弁護士たちが再審を求めて奔走するが、彼女は…筆舌に尽くせぬ孤独を描き抜いた慟哭の長篇ミステリー。日本推理作家協会賞受賞。

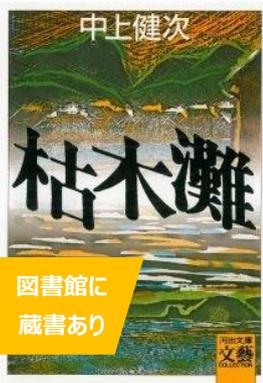
『ぼくたちの家族』 幻冬舎



家族の気持ちバラバラな若菜家。その仲を取り持ってきた母の玲子の脳にガンが見つかった。突然の出来事に狼狽しつつも玲子のために動き出す父と息子たち。だがそんなとき、父が借金まみれだったことや、息子たちが抱いてきた家族への不満が露になる…。近くにいながら最悪の事態でも救ってくれない人って何？ 家族の存在意義を問う傑作長編。

感性豊かなあなたに「今」手に取ってほしい日本の文学作品をお届けします。人知れず熱い思いに胸を焦がすとき、えもいわれぬ思いを抱えて道に迷ったとき、言葉にできないような心の揺れを感じたとき……。無意識に沈んでいる「自分」をふと気づくような瞬間、珠玉の1冊があなたに寄り添ってくれることもあるでしょう。そんな経験のきっかけになればと思います。

＜日本の文学作品 名作 10 選＞



『枯木灘』

河出文庫

中上 健次

紀州・熊野の貧しい路地に、兄や姉とは父が異なる私生児として生まれた土方の秋幸。悪行の噂絶えぬ父・龍造への憎悪とも憧憬ともつかぬ激情が、閉ざされた土地の血の呪縛の中で煮えたぎる。愛と痛みが暴力的に交錯し、圧倒的感動をもたらす戦慄のサーガ。戦後文学史における最重要長編。



『万延元年のフットボール』

講談社文芸文庫

大江 健三郎

友人の死に導かれ夜明けの穴にうづくまる僕。地獄を所有し、安保闘争で傷ついた鷹四。障害児を出産した菜採子。苦渋に満ちた登場人物たちが、四国の谷間の村をさして軽快に出発した。万延元年の村の一揆をなぞるように、神話の森に暴動が起る。幕末から現代につなぐ民衆の心のみごとくに形象化し、戦後世代の切実な体験と希求を結実させた画期的長篇。



『砂の女』

新潮文庫

安部 公房

安部の代表的作品で、近代日本文学を代表する傑作の一つと見なされているだけでなく、海外でも評価が高い。海辺の砂丘に昆虫採集にやって来た男が、女が一人住む砂穴の家に閉じ込められ、様々な手段で脱出を試みる。不思議な状況設定を写実的に表現しながら、「逃げない」男の姿に、市民社会の日常性や、そこに存在する人間の生命力の本質と真相が象徴的に描き出されている。



『春の雪 豊饒の

海・第一巻』

新潮文庫

三島 由紀夫

『豊饒の海』は三島由紀夫最後の長編小説。『浜松中納言物語』を典拠とした夢と転生の物語で、『春の雪』『奔馬』『暁の寺』『天人五衰』の全4巻から成る。20歳で死ぬ若者が次の巻の主人公に輪廻転生してゆく。仏教の唯識思想、神道の一霊四魂説、能の「シテ」「ワキ」、春夏秋冬などの東洋の伝統を踏まえた作品世界は見事。

最後に三島が目指した「世界解釈の小説」「究極の小説」である。最終巻の入稿日に三島は、陸上自衛隊市ヶ谷駐屯地で割腹自殺した。



『細雪』

新潮文庫

谷崎 潤一郎

1936年（昭和11年）秋から1941年（昭和16年）春までの大阪の旧家を舞台に、4姉妹の日常生活の悲喜こもごもを綴る。阪神間モダニズム時代の生活文化を描いた作品としても知られ、全編の会話が船場言葉で書かれている。上流の大阪人の生活を描き絢爛でありながら、それゆえに第二次世界大戦前の崩壊寸前の滅びの美を内包し挽歌的切なさが醸しだされる名品。



『斜陽』

新潮文庫

太宰 治

「太宰を読まない青春はむなしい」とまでいわれる太宰治の最高傑作のひとつ。没落貴族の娘の告白の形で、滅びゆくものの悲哀と憧憬を描き、不安な第二次世界大戦後の社会の中に新しい生き方を探った作品。太宰の自殺の前年に書かれた彼のある意味到達点と言えよう。没落階級を意味する「斜陽族」なる流行語を生んだ。



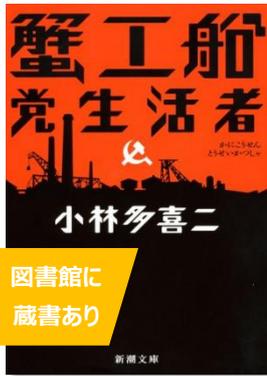
『破戒』

新潮文庫

島崎 藤村

日露戦争を通過した戦後文学の最初の新しい旗として、花々しく評価された作品である。

明治後期、部落出身の教員瀬川丑松は父親から身分を隠せと堅く戒められていたにもかかわらず、同じ宿命を持つ解放運動家、猪子蓮太郎の壮烈な死に心を動かされ、ついに父の戒めを破ってしまう。その結果偽善にみちた社会は丑松を追放し、彼はテキサスをさして旅立つ。激しい正義感をもって社会問題に対処し、めざましたものの内面的相剋を描いて近代日本文学の頂点をなす傑作。



『蟹工船』

新潮文庫

小林 多喜二

古い作品だが、数年前にリバイバルヒットを飛ばして再び注目された名作。

物語の舞台は、漁獲物の加工設備を備えた大型船（蟹工船）。労働法規が適用されない船の中では、過酷な労働環境のもと働かされる労働者たちが居た。過労や病気、時には暴力で命を落とす労働者が居ても、まるで人間扱いされないという描写に胸が詰まる。現代人が非常に共感できるのは、ブラック企業にも通じる名作であるがゆえではないか。



『雪国』

角川文庫

川端 康成

「無為の孤独」を非情に守る青年・島村と、雪国の芸者・駒子の純情。雪国での切ない愛憎劇を、徹底した情景描写によって表現しているのが本作品の特徴。まるで詩を読むような美しい表現の数々に圧倒され、日本語の美しさと可能性を堪能できる。魂が触れあう様を具に描き、人生の哀しさ美しさをうたったノーベル文学賞作家の名作であり、文体だけで読ませる川端康成の異能ぶりがいかに発揮されている。



『海と毒薬』

新潮文庫

遠藤 周作

九州の大学附属病院における、米軍捕虜の生体解剖事件を小説化した、遠藤周作の不朽の名作。毎日出版文化賞を受賞し、遠藤周作の文壇的地位を確立させた。

無愛想で一風変わった中年の町医者・勝呂には、大学病院時代に忌まわしい過去があった。第二次世界大戦末期、教授たちに反抗できず、米軍捕虜への人体実験に参加していたのだ。彼らの心理的背景には何があったのだろうか。

カトリックへの信仰心をルーツに、日本の精神風土について書く遠藤周作ならではの衝撃作は、時代を超えて読む者の背筋を凍らせる。戦争時の極限状態に置かれた人々の心理描写から、倫理観の問題点や人間の残虐性を浮き彫りにする。



新着図書あんない

今月図書館の蔵書として新たに追加した本です。(太字書名はピックアップ紹介あり)

100 哲学

書名	著者	出版社	分類番号	リクエスト
炎上社会を考える	伊藤 昌亮	中央公論新社	007.3	
情報パンデミック	読売新聞大阪本社 社会部	中央公論新社	007.3	
大人の知的好奇心を刺激するすてきな読書。		マガジンハウス	019.9	
55人の哲学者が答える大人の人生相談	小川 仁志	ワニ・プラス	104	
世界一たのしくてためになる「幸せ」の授業	ひすい こたろう	サンマーク出版	159	
生きのびるための「失敗」入門	雨宮 処凛	河出書房新社	159.7	
光であることば	若松 英輔	小学館	159.8	

200 歴史

書名	著者	出版社	分類番号	リクエスト
東京史	源川 真希	筑摩書房	213.6	リクエスト
私はないものを数えない。	葦原 海	サンマーク出版	289.1	
もっと知りたい牧野富太郎	池田 博	東京美術	289.1	
僕はこんなふう旅をしてきた	下川 裕治	朝日新聞出版	290	リクエスト

300 社会科学

書名	著者	出版社	分類番号	リクエスト
堤未果のショック・ドクトリン	堤 未果	幻冬舎	304	
みんなの「わがまま」入門	富永 京子	左右社	309	
13歳からの地政学	田中 孝幸	東洋経済新報社	312.9	
戦争の地政学	篠田 英朗	講談社	319.8	
ナオミ・クライン『ショック・ドクトリン』	堤 未果	NHK出版	332	
オタクを武器に生きていく	吉田 尚記	河出書房新社	361.5	
百年の女	酒井 順子	中央公論新社	367	
学校では教えてくれない生活保護	雨宮 処凛	河出書房新社	369.2	

400 自然科学

書名	著者	出版社	分類番号	リクエスト
やさしくわかる!文系のための東大の先生が教える光の不思議	吉田 直紀/監修	ニュートンプレス	425	
いのちつぐ「みとりびと」	國森 康弘/写真・文	農山漁村文化協会	490.1	
発達障害の人が見ている世界	岩瀬 利郎	アスコム	493.7	

500 技術・工学

書名	著者	出版社	分類番号	リクエスト
桃を煮るひと	くどうれいん	ミシマ社	596	

700 芸術・美術

書名	著者	出版社	分類番号	リクエスト
アー・ユー・リスニング	ティリー・ウォルデン/作	トゥーヴァージンズ	726.1	
ヘタリア World★Stars 1~6巻	日丸屋 秀和	集英社	726.1	リクエスト
ワールドトリガー 26巻	葦原 大介	集英社	726.1	リクエスト
二番目の悪者	林 木林/作	小さい書房	726.6	リクエスト
師弟百景	井上 理津子	辰巳出版	750.2	
色のことば選び辞典	学研プラス	学研プラス	757.3	
VISION 夢を叶える逆算思考	三笥 薫	双葉社	783.4	

800 語学

書名	著者	出版社	分類番号	リクエスト
創作ネーミング辞典	学研プラス編	学研プラス	801.3	
いつも「話が浅い」人、なぜか「話が深い」人	齋藤 孝	詩想社	809.2	
難読漢字選び辞典	学研プラス編	学研プラス	813.2	
ことばの結びつき辞典	学研プラス編	学研プラス	813.4	
美しい日本語選び辞典	学研プラス編	学研プラス	813.4	
感情ことば選び辞典	学研プラス編	学研プラス	813.5	
情景ことば選び辞典	学研プラス編	学研プラス	813.5	
漢字の使い分け辞典	学研プラス編	学研プラス	813.5	
和の感情ことば選び辞典	学研プラス編	学研プラス	813.5	
品がいい人は、言葉の選び方がうまい	山口 謠司	三笠書房	814	
エモい古語辞典	堀越 英美	朝日出版社	814.6	リクエスト
俳優・創作者のための動作表現類語辞典	マリーナ・カルダロン	フィルムアート社	815.5	リクエスト

900 文学

書名	著者	出版社	分類番号	リクエスト
Re:ゼロから始める異世界生活 短編集 6～7 巻	長月 達平	KADOKAWA	913	リクエスト
Re:ゼロから始める異世界生活 34 巻	長月 達平	KADOKAWA	913	リクエスト
夢見る帝国図書館	中島 京子	文藝春秋	913	
怪物	坂元 裕二／脚本	宝島社	913	
明日の世界が君に優しくありますように	汐見 夏衛	スターツ出版	913	リクエスト
ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだ ろうか 30～31 巻	大森 藤ノ	S Bクリエイティブ	913	リクエスト
ぎよらん	町田 そのこ	新潮社	913	
創約とある魔術の禁書目録(インデックス) 1～7 巻	鎌池 和馬	KADOKAWA	913	リクエスト
忘却の河	福永 武彦	新潮社	913	
おくることば	重松 清	新潮社	913	
がいなもん松浦武四郎一代	河治 和香	小学館	913	リクエスト
とわの庭	小川 糸	新潮社	913	
首里の馬	高山 羽根子	新潮社	913	
リボルバー	原田 マハ	幻冬舎	913	
この夏の星を見る	辻村 深月	KADOKAWA	913.6	
ハンチバック	市川 沙央	文藝春秋	913.6	
木挽町のあだ討ち	永井 紗耶子	新潮社	913.6	
それは誠	乗代 雄介	文藝春秋	913.6	
極楽征夷大將軍	垣根 涼介	文藝春秋	913.6	リクエスト
私はスカーレット 1～2 巻	林 真理子	小学館	913.6	
教室のゴルディオックスゾーン	こざわ たまこ	小学館	913.6	
洪水の前	赤川 次郎	汐文社	913.6	リクエスト
第五の季節	N・K・ジェミン	東京創元社	933	
オペリスクの門	N・K・ジェミン	東京創元社	933	
輝石の空	N・K・ジェミン	東京創元社	933	
しあわせの理由	グレッグ・イーガン	早川書房	933	リクエスト



新着図書ピックアップ

今月、高校図書館の蔵書に追加した図書の中から、注目の本をご紹介します。

(※本の内容は「Book データベース」より抜粋)



『炎上社会を 考える』

伊藤 昌亮
中央公論新社

インターネットやSNSを中心に沸き起こる、尽きることのない分断・衝突・ぶつかり合い。「炎上」という現象をかくも夥しく呼び起こしてしまう今日の社会、すなわち「炎上社会」は、どんな対立構造を持ち、いかなる紛争状況を抱えているのか。また、その背景にはどんな社会構造があり、時代状況があるのか。本書の意図は、炎上社会の成り立ちを分析し、炎上という現象の社会的な意味と文脈を明らかにすることである。



『世界一たのしくて ためになる「幸せ」 の授業』

ひすいこたろう
サンマーク出版

これまで誰も教えてくれなかった、幸せに生きる「絶対的な秘訣」とは？ネガティブ／ストレス／毎日がつまらない／未来への不安／貧乏／嫌いな人の存在／恋人ができない／欠点／過去のトラウマ／自信がない／失敗／ピンチなど、悩みにまみれている人、全員集合！幽霊だって、あんなふうにはうすら透明じゃなく、はっきりと姿が見えれば、なんにも怖くありません。悩みもその正体が見えれば、もう解決したのも同然なのです。12年間の「幸せ研究」から、幸せを遠ざけていた不幸の原因の“見える化”に成功した著者が贈る、驚きと発見と感動に満ちた書。



『私はないものを 数えない。』

葦原 海
サンマーク出版

両足をなくした。でも、世界は“できること”であふれている。
両足を切断した車椅子のパリコレモデルの圧倒的行動力に世界が大注目！



『堤未果のショック・ドクトリン』

堤 未果
幻冬舎

「ショック・ドクトリン」とはテロや大災害など、恐怖で国民が思考停止している最中に、為政者や巨大資本がどさくさに紛れに過激な政策を推し進める悪魔の手法のことである。日本でも大地震やコロナ禍という惨事の裏で、知らない間に個人情報や資産が奪われようとしている。パンデミックで空前の利益を得る製薬企業の手口、マイナンバーカード普及の先にある政府の思惑など…。強欲資本主義の巧妙な正体を見抜き、私たちの生命・財産を守る方法とは？滅びゆく日本の実態を看破する覚悟の一冊。



『戦争の地政学』

篠田 英朗
講談社

激動世界のしくみを深く読み解く。現代人の必須教養「地政学」の二つの世界観を理解することで、この500年間に起きた戦争の「構造を視る力」をゼロから身につける！



『VISION 夢を叶える逆算思考』

三笥 薫
双葉社

サッカーワールドカップ・カタール大会出場の立役者であり、ワールドカップ本戦では全試合で存在感を見せつけ、世界を驚かせた三笥薫選手。三笥選手を形作った夢を実現させるためのブレない考え方や「逆算思考」、「ダブル練習法」、「食事メニュー」、「メンタル法」、「自分しかない武器の作り方」、「教育法」、「フィジカル法」、「睡眠」、「シュート」。そして、「自分を変えられる力」、「走りの技術」、「アウトサイドパス」、「リーダー論」、「英語」、「簡単ストレッチ法」、「海外挑戦」。「小中高大」のサッカー全世代からの「伸ばし方」や親子、指導者、ビジネスマンのヒントとなるメソッドが「120項目」語られている。



『夢見る帝国図書館』

中島 京子
文藝春秋

上野公園のベンチで出会った喜和子さんが、作家のわたしに「図書館が主人公の小説」を書いて、と持ち掛けてきた。二人の穏やかな交流が始まり、やがて喜和子さんは終戦直後の上野での記憶を語るのだが…。日本初の国立図書館の物語と、戦後を生きた女性の物語が共鳴しながら紡がれる、紫式部文学賞受賞作。



『怪物』

坂本 裕二
宝島社

大きな湖のある郊外の町。ある嵐の朝、子供たちが忽然と姿を消した…。

息子を愛するシングルマザー、生徒思いの教師、無邪気な子供たち。

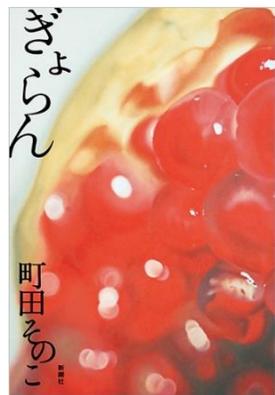
それぞれの視点から描かれる「怪物」探しの果てに、明らかになる正体とは。



『明日の世界が君に優しくありますように』

汐見 夏衛
スターズ出版

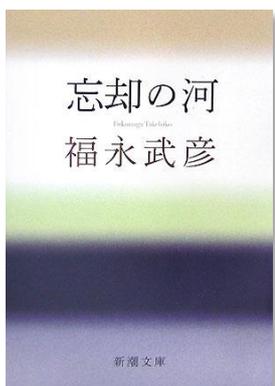
あることがきっかけで家族も友達も信じられず、高校進学を機に祖父母の家に引っ越してきた真波。けれど、祖父母や同級生・漣の優しさにも苛立ち、なにもかもうまくいかない。そんなある日、父親と言い争いになり、自暴自棄になる真波に漣は裏表なくまっすぐ向き合ってくれ…。真波は今まで秘めていたすべての思いを彼に打ち明ける。真波が少しずつ前に踏み出し始めた矢先、あることがきっかけで漣が別人のようにふさぎ込んでしまい…。真波は漣のために奔走するけれど、実は彼は過去にある後悔を抱えていた一。



『ぎよらん』

町田 そのこ
新潮社

人が死ぬ瞬間に遺す、いくらのような赤い珠。口にしたものは、死者の最期の願いが見えるという一。十数年前の雑誌に一度だけ載った幻の漫画『ぎよらん』。作者の正体も不明ながら、ネット上では「ぎよらんは本当に存在する」という噂がまことしやかに囁かれていた。三十路の二ト、御舟朱鷺は、大学一年のときに口した友人の「ぎよらん」に今も苦しんでいると語るが…。とある地方の葬儀会社で偶然に交錯する、「ぎよらん」を知る者たちの生。果たして「ぎよらん」とは一体何なのか。そして死者の願いは、遺された者に何をもたらすのか一。



『忘却の河』

福永 武彦
新潮社

「忘却」。それは「死」と「眠り」の姉妹。また、冥府の河の名前で、死者はこの水を飲んで現世の記憶を忘れるという一。過去の事件に深くとらわれる中年男、彼の長女、次女、病床にある妻、若い男、それぞれの独白。愛の挫折とその不在に悩み、孤独な魂を抱えて救いを希求する彼らの葛藤を描いて、『草の花』とともに読み継がれてきた傑作長編。



『おくることば』

重松 清
新潮社

小学六年生のユウたちは、先生から厳守するよう言われたルールを体育館裏でこっそり破る。中学校入学式までの忘れられない日々を描いた書下ろし作品「反抗期」ほか、宇宙人への自己紹介について頭を悩ませる「星野先生の宿題」などの小説、早稲田大学のゼミでの思いをつづった「夜明けまえに目がさめて」など、「作家」であり「せんせい」である重松清から、今を生きる君たちにおくる6篇。



『とわの庭』

小川 糸
新潮社

人生の脚本は、自分で書き換えられる！
夢も趣味もない大学2年生の夏川誠をかえたのは、ただ椅子に座るだけの遊び「チェアリング」の仲間たちだった。
『虹の岬の喫茶店』『夏美のホテル』の著者が贈る青春起業小説！



『首里の馬』

高山 羽根子
新潮社

この島のできる限りの情報が、いつか全世界の真実と接続するように。沖縄の古びた郷土資料館に眠る数多の記録。中学生の頃から資料の整理を手伝っている未名子は、世界の果ての遠く隔たった場所にいるひとたちにオンライン通話でクイズを出題するオペレーターの仕事をしていた。ある台風の夜、幻の宮古馬が庭に迷いこんできて……。世界が変貌し続ける今、しづかな祈りが切実に胸にせまる感動作。



『リボルバー』

原田 マハ
幻冬舎

ゴッホとゴーギャン。生前顧みられることのなかった孤高の画家たちの、伝説のヴェールを剥がせ！「ゴッホの死」。アート史上最大の謎に迫る、傑作ミステリ。

『この夏の星を見る』

辻村 深月
KADOKAWA



離れていても、空はひとつ。全国の中高生たちは天文活動を通じてつながっていく。2020年春、コロナ禍で登校や部活動が次々と制限される中、牛国の中高生は複雑な思いを抱えていた。茨城県の高校二年生、亜紗。渋谷区の中学一年生、真宙。長崎県五島列島の旅館の娘、円華。それぞれに天文活動に出会った生徒たちは、オンライン会議を駆使して、全国でつながっていく。望遠鏡で星をつかまえるスピードを競う「スターキャッチコンテスト」開催の次に彼らが狙うのは――。

『それは誠』

乗代 雄介
文藝春秋



第169回芥川賞候補作に選ばれた、いま最も期待を集める作家の最新中編小説。修学旅行で東京を訪れた高校生たちが、コースを外れた小さな冒険を試みる。その一日の、なにげない会話や出来事から、生の輝きが浮かび上がり、えも言われぬ感動がこみ上げる名編。

『教室のゴールドイロックスゾーン』

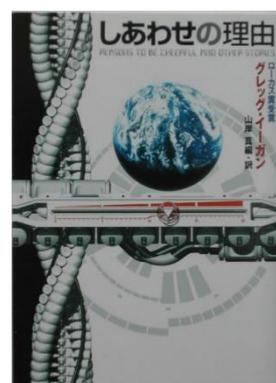
こざわ たまこ
小学館



中学校のクラスに馴染めず、現実から妄想の世界に逃げがちな依子。彼女が頼れるのは父と、幼い頃から一緒に育ってきた愛犬のトト、そしてたった一人の友人・さきだけだった。しかしクラス替えからしばらくして、“新しい友達”ができたさきは依子を避けるようになる――。自分の居場所を見つけられない人、探してしまう人へ贈る、著者渾身の連作短篇小説。

『しあわせの理由』

グレッグ・イーガン
早川書房



12歳の誕生日をすぎてまもなく、ぼくはいつもしあわせな気分ではなくなった…脳内の化学物質によって感情を左右されてしまうことの意味を探る表題作をはじめ、仮想ボールを使って量子サッカーに興ずる人々と未来社会を描く、ローカス賞受賞作「ボーダー・ガード」、事故に遭遇して脳だけが助かった夫を復活させようと妻が必死で努力する「適切な愛」など、本邦初訳三篇を含む九篇を収録する日本版オリジナル短篇集。

**武南学園 図書館だより 汗牛充棟
9月号**

2023年9月29日発行

企画編集：教務部図書係・図書館司書・図書委員

配布先：武南高校・武南中学 生徒および保護者

※学園の許可なく無断複製、複写、二次利用を禁ずる。